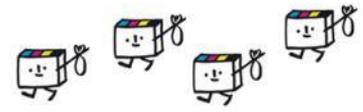
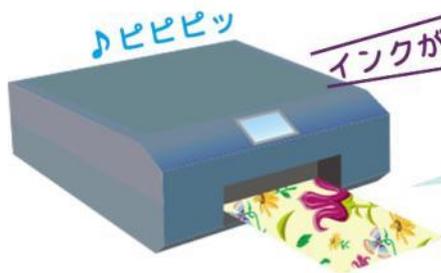


## 里帰り君の旅



皆さんの家庭で、写真や書類などのプリントに活躍するインクジェットプリンター。インクがなくなっても、新しいインクカートリッジに交換すればまたプリントが続けられますね！



…ところで、使い終わったインクカートリッジはどうすればいいの??

使い終わったインクカートリッジは、全国の郵便局や自治体施設などにある「インクカートリッジ里帰りプロジェクト」の回収箱で集めていますよ。

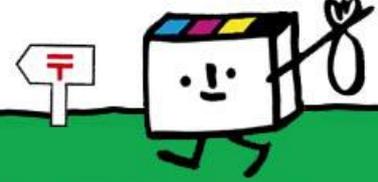
インクカートリッジ里帰りプロジェクトは、プリンターメーカー4社（ブラザー、キヤノン、エプソン、HP）の使用済みインクカートリッジを共同で回収し、各メーカーに戻すプロジェクトです。

全国約3600の郵便局と、200を超える自治体の約3000箇所以上の施設に回収箱を設置してあります。

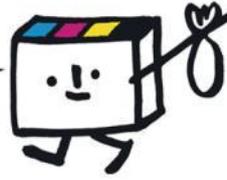
全国津々浦々の場所で回収されたインクカートリッジは一箇所に集められ、そこで各メーカーごとに仕分けをされて、また各メーカーに戻されるんです。つまり、インクカートリッジが「里帰り」するんですね！

でも、いったいどうやって集めて、どこでどういうふうに仕分けしているのでしょうか?? …この秘密を探るべく、インクカートリッジ里帰りプロジェクトのイメージキャラクター「里帰り君」といっしょに里帰りの旅に出かけてみましょう！





こんにちは、僕「里帰り君」！今日は僕と一緒に里帰りの旅に出かけよう！



…旅の始まりは郵便局から。

今回の出発地点は光が丘郵便局（東京都練馬区）。この郵便局は駅に近く、近所にマンションなどがあって訪れるお客さんはとても多いようです。



この大きなビルが郵便局



入り口に回収箱があるよ

あ、回収箱発見！入ってすぐの目立つ場所にあるネ！



あっ、回収にご協力ありがとうございます！

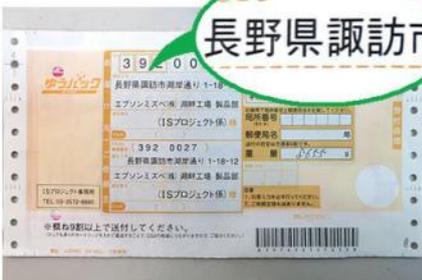


箱がいっぱいになったら封をして発送の準備です



重さを量ってゆうパックの伝票に書いて…

長野県諏訪市



伝票によると行き先は長野県



他のゆうパック荷物と一緒に運ぶから合理的だね

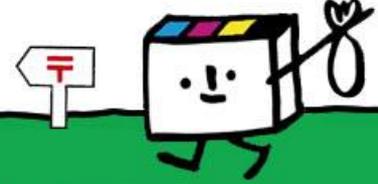


トラックに積み込んで…



さあ、しゅっぱーつ！





回収箱の行き先は長野県の諏訪市にある「ミズベ」というところです。

その「ミズベ」に配達する前にいったん諏訪郵便局に集められます。

光が丘郵便局から諏訪郵便局まで、200kmくらい、電車だと新宿からJRの「あずさ」に乗って上諏訪駅まで約2時間半です。

それでは諏訪郵便局に行ってみましょう！



諏訪郵便局は上諏訪駅から数分



全国から届いた回収箱が集結していますネ



諏訪郵便局には多いときで1日100箱以上の回収箱が届くそうですよ！



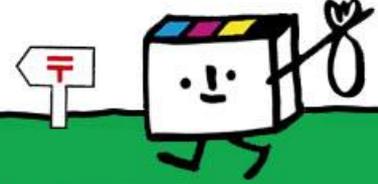
次はどこに行くのかな？



これからミズベに配達です！

ミズベにGo!





## ここでちょっとひとやすみ

ミズベのある「諏訪」ってこんなところだよ



諏訪湖  
(写真提供：諏訪市)



御柱祭 (木落し)  
(写真提供：諏訪市)



御柱祭 (川越し)  
(写真提供：諏訪地方観光連盟)



諏訪大社下社秋宮  
(写真提供：諏訪市)



諏訪湖祭湖上花火大会



お蕎麦もおいしいヨ

ではいよいよ「ミズベ」に行ってみましょう！



お蕎麦も  
食べたし♪

諏訪郵便局からミズベまで車で10分ほど。ほぼ毎日回収箱が届けられています。



写真ではわからないけど、諏訪湖のすぐ近くなのです



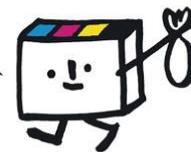
おつかれさまです！

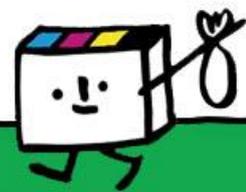
今日もたくさん  
持ってきたよ～



よっころしよ

配達の局員さん  
いつもありがとう  
ございます！





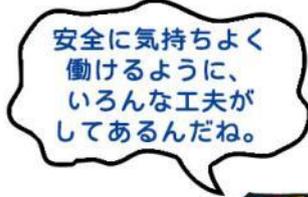
## 企業紹介：ミズベとは？

「ミズベ」ことエプソンミズベ株式会社は、セイコーエプソンの特例子会社として1983年9月に発足し、エプソングループにおける障がい者雇用のモデル企業として活動しています。

障がいのある方が活躍できる働きがいのある職場環境をつくり、充実・発展させることで、一般就労・自立に向けた雇用の促進を使命としています。



什器などの高さや角度を変えられるよう工夫してあります



もちろんバリアフリー

それでは、インクカートリッジ受け付けから仕分けまでの流れを見てみましょう。

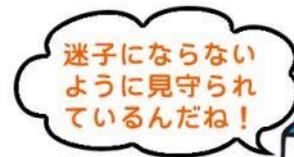


重さを量って...



まず最初に郵便局から届いた箱の重さをはかり、送り主や受付日を登録します。

これは、インクカートリッジを回収箱に入れた人や、回収拠点から送り出す人たちが里帰りの状況を確認できるしくみに使われています。ホームページにある「里帰り状況の確認はこちら」で、インクカートリッジを入れた場所と日付を入力すると、里帰り状況がわかるんですよ。



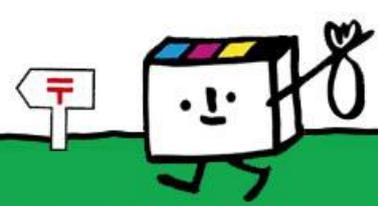
インクカートリッジ里帰りプロジェクトホームページ  
<http://www.inksatogaeri.jp/>

ついでに  
お知らせ

里帰り君がツイッターで回収量が多かった場所や耳寄りな情報を毎日つぶやいていますよ！みんなフォローしてね！

@inksatogaeri





登録が終了したインクカートリッジは、箱からテーブルの上に出され、1個1個確認しながらプリンターメーカーごとに仕分けをされます。



見ていると実に簡単そうに仕分けられているのですが、これが実はたいへんなんです！ 各社のインクカートリッジだけで何十種類もあるし、なかには間違えて入っちゃったインクカートリッジ以外のものも混ざっていることがあります。



## 仕分けはどれくらいたいへん？

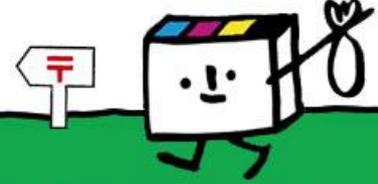
近隣の高校生がミズベを会社訪問した際に、社員さんと高校生で仕分け競争をしてもらいました。ベテラン社員さんと1対1ではまったく歯が立たず、高校生3人がチームとなってやっと追いつける位の作業のたいへんさを肌で感じてもらいました。熟練の社員さんは各メーカーのインクカートリッジをすばやく正確に、そして根気よく仕分けしているんですね～。

まさにプロ  
ですね！



仕分けにチャレンジした高校生





仕分けられたインクカートリッジ。分けるといっても、各社いろんな種類の製品を作っているのも単純ではありません。



どれがどのメーカーかわかるかな？



メーカー×各機種で合計何十種類にもなるインクカートリッジを見分けなくてはならないのです。

**※インクカートリッジ里帰りプロジェクトは、参加プリンターメーカーの純正インクカートリッジを回収対象としています。**

## 回収箱もたくさん

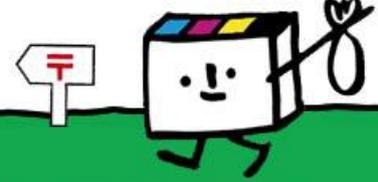
・・・ところで、郵便局での回収からその後ミズベまで運ばれるのにつかわれる回収箱はかなりのたくさんになります。

これらの箱は、中味を出した後はきれいにたたまれてとってあります。



そしてこれらの箱は、このあと各メーカーにインクカートリッジを送るときなどに再度使われるのです。ゴミにするとたいへんな量ですが、できるだけ再利用することでムダをはぶいているんですね！





仕分けられたインクカートリッジは、各メーカーごとに箱に入られます。



カートリッジを箱に入れます  
自動でカウントもしているよ



ここで回収箱と袋を再利用!



置き台は台車になっていて、そのまま運べます



はかりで重さを量ります



メーカー・重さ・個数が書かれた  
シールが印刷されるよ



封をしてシールを貼ります



これで行き先と中身が一目瞭然



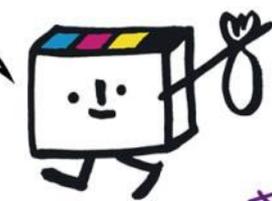
ふたたびゆうパックで送られるよ



あとは発送を待つばかり。。

インクカートリッジ里帰りプロジェクトの役割は、こうやって各メーカーに確実に届ける  
ところまでです。各メーカーではインクカートリッジを受け取ったあと、それぞれの種類  
に応じた適切な方法でリサイクルを進めています。

みんな、使い終わったら  
ゴミにしないで、里帰り  
プロジェクトの回収箱に  
連れて行ってね!



さようなら～  
またネー

おしまい

